

新型コロナウイルス感染症 対策の充実をはかる

令和2年12月定例会

一般会計補正予算

2342万4千円を可決

本会議での審議内容については、抜粋したものを掲載

新型コロナウイルス感染症対策事業費

今回の補正予算に計上された当該事業費は、国の地方創生臨時交付金を活用した感染症対策事業費で、主な事業は以下のとおりです。

- 修繕料 1078万7千円
(公共施設のトイレの一部について、手洗いの自動洗浄化を進めるなどの感染症対策のための修繕料)
- 新型コロナウイルス感染症対策用備品 1224万3千円
(総務費 760万円、衛生費 44万3千円、教育費420万円)
(公共施設の入口などに設置するA I機能付き検温モニターなどの感染症対策のための備品購入費)
- 大崎町発熱外来診療体制整備事業補助金 250万円
(発熱外来者を受け入れるための体制整備費用として、町内の医療機関を対象に一医療機関あたり50万円を上限に助成)
- <にの松原キャンプ場及び益丸プールトイレ洋式化工事 320万円
(飛まつ感染を最小限に抑えるためにキャンプ場管理棟や益丸プールのトイレを洋式化)



大崎町SDGs推進協議会設立出^{しゅつえん}捐金 100万円

資源循環を中心としたこれまでのSDGsに関する取り組みを加速させるため、鹿児島相互信用金庫、MBC、合作株式会社、株式会社そらのまち及び大崎町が合同でSDGs推進協議会の設立を予定していることから、その設立のために支出するものです。